学校と子供と地域が◎の関係になるための学校支援活動情報誌　R3.12 月発行

# Connection

Vol.9

## コロナに負けない強い絆

## 小金北中学区教育コミュニティ会議

- 小金北中学区教育コミュニティ会議常任委員会　へ潜入！
- コミュニティ会議メンバーの方々にインタビュー
- 松尾校長先生・山口教頭先生へインタビュー！
- 地域ボランティア活動誕生秘話＆エピソード
- 小金北中学校　生徒さんへインタビュー

# Connection とは

市内の小中学校では、保護者や地域の方々が何らかの形で学校を「支援」する取り組みが行われています。そのような支援の理解を深め、広げることを目的として、情報誌「Connection」を平成２８年度より発行しています。各学校における、支援活動の充実や拡大の一助となればと考えています。

今回の「Connection」では

松戸市立小金北中学校を取材！

コロナに負けず活動している

ボランティアのお話を

お聞きすることができました！！

## ボランティア活動の中枢

## 小金北中学区教育コミュニティ会議常任委員会　へ潜入！

『小金北中学区教育コミュニティ会議常任委員会』とは・・・
地域の方々、中学区内の小中学校の校長先生・教頭先生、ＰＴＡの方々が月に１回程集まり、中学区内の学校のボランティア活動など学校行事の運営について話し合う場です。

【主なボランティア活動内容】
●世代交流会　●サタデースクール　●ボランティア体験学習

会議の様子

小金北中学区教育コミュニティ会議は今年で創設２６年を迎える組織です。そんな伝統的な組織を支えるメンバーの方々にインタビューさせていただきました！

（小金北小ＰＴＡ副会長の小櫃志保（こびつしほ）さん
＆殿平賀小ＰＴＡ会長の加賀谷桂子（かがやけいこ）さん）

Q. コミュニティ会議などのボランティア活動でやってよかったと思うエピソードを教えて下さい。

A. 小金北小学校では、ベルマーク集めを例年ＰＴＡが行っていましたが、コロナを機に高学年の生徒が集めるようになりました。感染症対策かつ、ＰＴＡの業務負担減、さらに高学年の生徒にベルマークを集めている意味を教える良い機会になったと思います。

Q. 小金北中学区内の学校はどんな学校だと思いますか？

A. コロナ前はクラス単位の任意の親睦会（小金北小は小１、殿平賀小は全学年だと思う）があり、引っ越してきて土地勘が分からなかったり、ママ友がいないなかで親睦会があるのはありがたかったです。

ボランティア体験学習でコロナ禍ならではのマスクづくり

## 松尾校長先生・山口教頭先生へインタビュー！

Q. 市内他校においても様々なボランティア活動が行われていますが、小金北中学校のボランティア活動はどのような特徴があると思いますか？

A. 約１２０人（全校生徒の３分の１くらい）が近くの保育園や高齢者施設でボランティアをしています。生徒のボランティアへの参加率がかなり高いと思います。

Q. コロナ禍によりボランティア活動自体行うことが難しい状況の中で印象的なボランティア活動はありますか？

A. 地域ボランティアの方々が、保育園や高齢者施設と連絡をとり、現在１２施設と連携しています。今年度はコロナ禍なので、草取りとマスク作りをしました。マスク作りに関して、１２個×１２施設程のマスクを作成し、地域のコロナ対策に役立てました。

Q. 様々な形で学校を支援して下さっている地域ボランティアの方々に向けて一言お願いします。

A. 通常、地域からの依頼を学校が調整するのですが、地域主体でボランティア活動をしていただけるのでありがたいです。今後も良い関係を築いていきたいです。

# 地域ボランティア活動 誕生秘話＆エピソード

（写真左より・・・地域の会会長：小野（おの） 順子（じゅんこ） さん、副会長・会計：千田（せんだ） 陽子（ようこ） さん、
副会長：中村（なかむら） 優子（ゆうこ） さん）

世代交流会をつくったきっかけは、地域の会議の場でお話を聞いたことです。その方の話によると、中学生が学校帰りにおしゃべりで 5, 6 人たまっていたそうです。悪いことをしている訳ではなく、固まっていただけ。中学生が話し込んでいるのを怖いと言っていました。これは実際に中学生と関わりがないからだと思いました。そこで、どこかで地域の年配の方と中学生が直接関わる場を作りたいと思いました。

そんなきっかけで始まった世代交流会でテニスの講師をされた方が、ある日コンビニの前でしゃがんでいる中学生の生徒たちを見かけました。よく見ると、自分がテニスで教えていた子だとわかりました。世代交流会がきっかけで顔見知りになれたので不安なく話しかけられたそうです。

ボランティア体験学習でマスクづくりを教えた方も、教える前は、「今時の中学生の子とは関わりがないからどう接したらいいか分からないわ」と話していたそうです。でも、実際にボランティアをした後には「本当にいい子ばかりで感動しちゃう」と喜んでいたそうです。直接関わりがないと声をかけることはなかなかできないけれども、少しでも知っていれば声をかけやすくなります。

そんな世代交流会やボランティア体験学習では、子どもと接することができて良い刺激になります。実行委員や最近の保護者の人たちと関わることで、自分たちが保護者だった時との違いを知ることができます。

＊世代交流会とは＊
地域の方々を講師にお迎えし、日頃学校だけでは学習・体験できないことを２８講座（：Ｒ３の予定数）の中から選択し小金北中生徒・教職員・保護者・地域の方々と一緒に学習する行事

## 初めはなかなか受け入れてもらえないボランティア
## ・・・そこから欠かせない存在へ

**そんな、世代交流会は今でこそ地域の方が喜んで講座を教えてくれたり、男女の枠を取っ払ってお兄ちゃんがおすすめの太極拳の講座を妹に教えたり、学年ごとではない色んな人が関わり、様々なコミュニケーションが広がるボランティアとなっていますが、初めからボランティア活動が順風満帆だったわけではないようです・・・**

今は歓迎してくれて協力的な学校側も、昔は学校に地域の人が入ってくることに抵抗があったようです。ＰＴＡとは異なる大人が学校に頻繁にいることに反発があり、挨拶しても返してくれない先生もいました。
先生は 7 年、保護者は 3 年で変わってしまいます。そうじゃないずっと根を下ろしている地域の人たちが関わっていかないと地域の子供たちは育たない。そんな思いで当時の校長・教頭・教務主任の先生の提案で、地域の人たちと一緒に小金北中学区教育コミュニティ会議を作りました。

しかし校長先生方はそういう気持ちでも、他の先生はそうとはいきません。
ボランティア体験学習も初めは先生が反対して、先生相手になぜボランティア体験学習が必要なのかを説明しました。「そんなことは学校でやらなくてもお家で親御さんがやればいいことでしょ」とも言われました。でもできない家庭もあると思います。長期休暇中だから先生たちに迷惑はかけないはずなのに、なぜか反対されました。

そんな歓迎されない中、ある不登校気味の生徒が実行委員になりました。多くの仕事はできないと担任の先生は言いましたが、本人が希望しているからと受け入れました。その子は授業にはこなくても実行委員会にはきました。そこで、「ボランティア体験学習の希望者が増えたから体験先を増やしたいのだけども、参加してくれそうな保育園とかに予約の電話をしてもらえない？」といって電話してもらいました。5, 6 か所電話してくれました。それから学校に来られるようになりました。担任の先生はボランティアのおかげだと喜んでいました。それがきっかけでこのボランティア活動が認めてもらえるようになってきました。

# 小金北中学校　生徒さんへインタビュー

小金北中学校１年３組　上田　莉子（うえだ　りこ）さん

世代交流会が（コロナの影響で）今年度中止となってしまいましたが、

Q. 今の気持ちは？

A. 調べていくうちに興味・関心も高くなってきたので、中止になってしまって悲しいです。

Q. どの講座に参加する予定でしたか？

A. グランドゴルフ。選択した理由は、河川敷のグランドゴルフを見たことと、小学生のときにバーベキュー場にパターゴルフが併設していて、楽しかった思い出があるからです。

Q. 会えなかった世代交流会の講師の方々へ一言お願いします。

A. 調べていくなかで工夫されているスポーツだから来年機会があれば、ぜひ同じグランドゴルフで世代交流会に参加したいです。

参加生徒調べ学習資料

小金北中学校３年１組　齊藤　菜々葉（さいとう　ななは）さん

世代交流会が（コロナの影響で）今年度中止となってしまいましたが、

Q. 今の気持ちは？

A. 実行委員会で色んな取り組みをしていたので、できなくなって寂しいです。

Q. 今年は中止となってしまいましたが、他校にはない世代交流会が実施されていることについてどう思いますか？

A. 中１の時はマスコットを作る講座に参加していました（中３はアコースティックギターの講座に参加予定でした）。新しく興味をもつものが増えて嬉しいです。

Q. 世代交流会のような、様々な年齢の方が交流する場をどう思いますか？

A. なかなかない機会のため良い場所だと思います。

Q. 会えなかった世代交流会の講師の方々へ一言お願いします。

A. 中止になってしまいましたが、調べるきっかけをくれてありがとうございます。

「うちの学校支援活動も、情報誌の記事にしてほしい！」等の声をお待ちしています

［編集・発行］　松戸市教育委員会　教育企画課　企画財務班　TEL:047-366-7455
E-mail:mckyouikuki@city.matsudo.chiba.jp